

令和2年度 事業所職員向けアンケート集計

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係が適切であるか	6			個別活動時には、間仕切り用扉（シャッター）を閉めて少人数で活動できる部屋を作り、全体で行うプログラムの時には、間仕切り用扉を開け大きな部屋にして活用が可能。
	②	職員の配置数は適切であるか		6		<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の迎への時間が重なった場合等、支援にあたる職員の人数が手薄になる時間がある。 ・現在、男性利用者が多い事から介助の場面等を考慮すると、男性職員の増員を図る事が望ましい。（保育士等の求人継続中）
	③	事業所設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			玄関・施設内等、全てバリアフリー化になっている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			毎週火・木曜日に職員間で行事の詳細設定や反省、リスクマネジメント、各利用者の支援について会議を開いている。また、業務改善事項の集約・検討及び、行事の企画立案に関する意見交換を行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1		保護者向けアンケートについては昨年同様に、ガイドラインで示された様式の内容に、マ〜チ独自の項目を追加した物で調査を実施している。今年度は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、外出や保護者参加の行事は自粛した。（行事の内容の大幅な変更については、事業所からの説明により保護者の皆様には理解していただけた）
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			法人ホームページに毎年公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか			6	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大により、今年度は大幅に予定していた外部研修会等が中止になった。 ・外部講師を招いての事業所内研修に代えて、事業所内でのグループワークを12月に開催した。 ・感染予防に配慮した上で、事業所内研修のあり方やオンラインでの外部研修会への参加を検討する。

適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			放課後等デイサービス計画の作成にあたっては、総合的な観点からアセスメントを行う為、学校との情報共有の機会を設ける必要があったが、新型コロナウイルスの影響もあり、十分な情報共有が図れなかった。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			個別支援計画ソフトを使用し、必要に応じて共通項目以外に追加項目を設けている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			活動プログラムについては、担当スタッフが活動プログラム案を作成し、その後職員全員で確認し、決定している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			クッキングや製作に関しては、その難易度に応じて工程を細分化する事で、利用者達自身が取り組みたい内容を選択できるよう工夫している。レクリエーションについては、利用者全員で行うものとグループに分かれて行うものを企画している。全体で行うものは、その内容の難易度に配慮し、参加した利用者全員が、一緒に楽しめたという思いに繋がるようにしている。体を動かす内容や、利用者同士でテーマに沿って話し合う事、レクリエーションゲームなどで小集団での楽しさや成功体験の積み重ねを目的として、内容に変化を持たせながら提供している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			平日は個別活動や全体プログラムがメインであるが、休日では、グループでの取り組みと、個別活動、全体プログラムを午前午後に分けて設定している。また、休日では調理体験なども取り入れている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			個別活動と集団活動を組み合わせた活動プログラムを設定しているが、個人の目標に沿って計画を作成している為、全ての利用者の計画の中に個別活動と集団活動の両方の内容が盛り込まれているとは限らない。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		1	<ul style="list-style-type: none"> 平日は、毎日その日の支援開始前に打ち合わせを行い確認している。 長期休暇や休日については、利用者の受け入れ対応により、全員が集まったの打ち合わせが難しい場合には、ホワイトボードなどを活用し、その日の役割を提示し、各職員が確認してから業務にあたるようにしている。ただし、必要な引継ぎ内容については、都度口頭で報告している。

適切な支援の提供	⑩⑥	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2		終了後は利用者の送迎対応や勤務体制上、職員全員が集まって打ち合わせを行う時間が取れない為、次の日に前日の振り返りを行い、情報を共有している。
	⑩⑦	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援に関しては、利用者ごとにPCに記録保存している。 ・各利用者について、どの点を記録するかという事を一覧にし、各スタッフが確認して記録をとっている。 ・利用者の困り感だけでなく、良い点（強み）を積極的に記録するように意識している。 ・児童発達支援管理責任者がモニタリング時期に、その記録をサービス担当者会議の資料として活用している。
	⑩⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			定期的にモニタリングを行い、必要に応じてサービス計画の見直しを行なっている。
	⑩⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6			一日のプログラムとして、「個別での取り組み」と「全体プログラム」を組み合わせさせて計画している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑩⑩	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			児童発達支援管理責任者がサービス担当者会議に参加し、計画内容についても触れながら情報の共有、サービス等利用計画の作成への情報提供を行っている。女性利用者の支援内容に排泄支援などが含まれているケースでは、女性職員も参画するなど配慮している。
	⑩⑪	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6			学校との情報共有では、年度初めに必ず利用している利用者の在籍校に訪問し、現在その学校の児童生徒で利用されている方の一覧、マ〜チ職員（顔写真付き）一覧などをまとめた用紙を校長や教頭に渡し、その際学校の年間行事予定を頂き、送迎での注意事項、必要事項について連絡調整している。その他、利用者のいつもと違う行動が数日続くようであれば、保護者に確認の上、学校と情報を共有している。
	⑩⑫	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			6	現状、医療的ケアを必要とする子どもは利用していない。また、看護師などの医務職員が常駐しない中での、医療的ケアが必要な利用者の受け入れは難しい。
	⑩⑬	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	4		小学校低学年の利用者が新規で利用されている時には、就学前に利用していた療育の場（発達支援センター、保育所、幼稚園など）があれば情報を確認している。小学校高学年や、中学生から新規利用する場合は、現在の様子とはかなり違う事も多く、その場合は現在の状況を把握している保護者や関係機関から話を聞いている。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		6		個人情報の管理上、あくまでも保護者の要請を受けた場合に、移行事業所などに情報を提供している。これまで、保護者からの情報提供の依頼があったケースは無い（依頼があれば応じる）。
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			6	児童発達支援センター等の専門機関が近くにない為、助言を受ける機会は難しい。（以前に発達障害者支援センターの職員を講師に招き、事業所内研修を開催した）
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			6	現在、放課後児童クラブや児童館との交流は行なっていない。
	②7	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	6			自立支援協議会の構成メンバーはおらず、参加出来ていない。市からの依頼により、地域ケア会議等への参加の機会はある。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			保護者の方とは連絡帳を活用し情報を共有している。また、保護者からやママ～ちから気になる事があれば電話連絡や、面談を行うなどして対応している。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			6	保護者に対し、ペアレントトレーニングの支援は行なえていない。保護者への支援の前に、まずは支援者がペアレントトレーニングを学び、日々の現場での実践を通し、その効果について、保護者に伝えていくようにしたい。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			利用者負担、運営規定については、契約時に説明、もしくは変更時に説明をその都度行なっている。支援内容については、放課後等デイサービス計画の説明や面談で説明している。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			相談を受けた場合は必ず電話、面談により内容を確認し助言している。こちらからできる助言は行ない、より専門的な助言を求められた場合は関係機関に繋ぐように支援している。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			6	今年は新型コロナウイルスの影響により、茶話会や家族参加行事等の保護者同士が集まる機会を設定する事が出来なかった。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			アンケート調査など、保護者などからより率直な要望、相談を挙げてもらえるように受付方法を工夫している。(匿名・郵送にて回収)。苦情への対応としては、受け付けた段階で管理者に報告の上、速やかに会議、苦情解決委員会を開催する。今後の対応等について、検討した内容を本人、保護者へ出来るだけ早く説明することを意識している。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			毎月、広報誌を発行して、連絡事項や日々の活動について報告している。開設当初より事業所内外の行事を行った際には参加した利用者の様子をまとめた報告書を作成し、保護者に報告している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	6			個人情報に関わるファイルなどは、施錠しているスタッフルームに保管し、関係者以外開けることが出来ない。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	2		配布物へのルビ表示の他、必要と思われる配慮事項について検討していく。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			6	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民を招待しての行事企画に関しては、利用者、保護者の要望についても十分確認しながら検討する必要がある。 ・今年度は新型コロナウイルスの影響により開催出来なかったが、保護者参加型行事は例年企画している。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			特に今年度は新型コロナウイルスに対する事業所内で行っている感染予防対策等について、広報誌で周知した。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			年度初めに避難訓練計画を作成している。月曜日から金曜日の各曜日で避難訓練を実施する事で、利用されている方全員が避難訓練を受けられるように配慮している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	3		今年度はオンラインでの虐待防止権利擁護研修会に1名が受講し、直近の職員会議にて、研修内容を職員に報告・周知した。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			事故、危機回避の為に手を繋ぐことや、とっさに腕を掴む事等はあるが、職員全体で協議し振り返り支援策を決定する。やむを得ず身体拘束を行う可能性のある利用者に関しては、個別支援計画にその必要な場面や対応について記載のうえ、保護者に説明している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			食物アレルギーのある利用者に関しては、保護者から検査結果のコピーをもらい保管している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			ヒヤリハットに関して、会議の中で協議し、書面で作成し職員全体で確認している。また、今後他事業所との情報交換で得た内容も含め、事業所内で検討しリスクマネジメントに繋げる。